

高来図書館だより

2022年(令和4年)10月号 NO. 193

諫早市立高来図書館
〒859-0117
諫早市高来町峰19-1
(高来西ゆめ会館内)
TEL 0957-32-2395
開室時間 午前10時~午後6時
<https://www.lib.isahaya.nagasaki.jp>



10/27~11/9は読書週間です

10月27日から11月9日までの、文化の日をはさんだ2週間は「読書週間」です。期間中は各所で様々なイベントが行われます。この機会にお気に入りの本を見つけてみてください。



高来図書館では読書週間期間中、特別なスタンプカード(ヨムヨムカード)を差し上げます。2回スタンプを集めてくださった方には感謝の気持ちをこめてささやかな贈りものがありますよ♪



今月の特集展示

【一般】
「おいしい小説」
「秋を味わう」
「お金のはなし」
「アートを楽しむ」

【児童】
「きせつのえほん(秋)」
「体をうごかさう」
「秋の空を観察しよう！」



ご存じですか？

高来町出身の書家 廣津雲仙

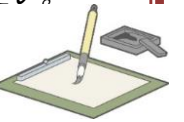
ひろつ うんせん



【1910年(明治43年)10月1日~1989年(平成元年)9月19日】

昭和期に活躍した書家で、日展の常務理事を務めたほか、日本書芸院の設立、読売書法会の創立に尽力するなど日本書道界の重鎮として活躍。また、書道雑誌『墨滴』を刊行すると同時に墨滴会を主宰し、後進の育成にも力を注ぎ、全国に門下生を持っていました。諫早市高来町出身で、本名は廣津 四郎(ひろつしろう)。雅号の「雲仙」は、雲仙岳に由来します。その功績を顕彰する「尾花忌」が毎年秋分の日に開催されていますが、今年は新型コロナウイルス感染症に配慮し、式典は中止し献花のみ行われました。

高来図書館にも作品集がありますので、ぜひいちどご覧ください。



《おはなし会のはなし》

8月の《おはなし会》は夏休み恒例の『ちょっぴりこわーいおはなし会』でした👻

- ①『おじいさんと10ぴきのおばけ』 ②『あかいさんりんしゃ』
 - ③『こわめっこしましょ』 ④『子そだてゆうれい』(紙芝居)
- の4冊をよみました。なかには「ちょっぴり」じゃなくてぞくぞくこわーいおはなしもあったかな?! 来年もおたのしみに♪



10月のカレンダー

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

☒: 休室日 ■: おはなし会



今月の
おはなし会は
10月22日(土)
午後2時~です。

※おはなし会やイベントは状況により中止になることがあります。詳しくはホームページをご覧ください。



新着案内



【一般書】



『ロスト・スピーシーズ』 下村 敦史/著 (KADOKAWA)
がんの特効薬になる幻の植物を見つけるため、アメリカの製薬会社が南米アマゾン奥地探索チームを結成した。メンバーに加わった植物学者の三浦は、緑の地獄というべき過酷な自然に対峙し…。『小説野性時代』連載を加筆修正。

『嘘つきジェンガ』 辻村 深月/著 (文藝春秋)
見栄、不安…。ほんの出来心から積み上げてしまった嘘。一線を越えたら、もう戻れない。騙す側、騙される側、それぞれの心理を巧みに描く小説集。『オール讀物』掲載を単行本化。

『家裁調査官・庵原かのん』 乃南 アサ/著 (新潮社)
庵原かのんは、福岡家裁北九州支部の少年係調査官。罪を犯した少年少女や親たちとの面会を繰り返す中で、やがて彼女は厳しい家庭の事情や社会の現実と直面し…。『小説新潮』掲載をまとめて単行本化。

『クリ粥』 山本 一力/著 (祥伝社)
長屋の桶職人の最期の願いを叶えるため、時季外れのクリを手に入れる! 深川一の疾風駕籠の二人が、希望を信じて江戸の町を奔る、奔る! シリーズ第4弾。『小説NON』掲載に加筆修正し単行本化。



その他の新着本



- ❖ 『ヤングケアラー』とは誰か?
- ❖ 『スピリチュアルってなに?』
- ❖ 『エコな毎日』
- ❖ 『ウクレレが上手くなる方法 2022』
- ❖ 『けなげな野菜図鑑』
- ❖ 『プロだけが知っている小説の書き方』
- ❖ 『中谷彰宏の子育てワクワク作戦』
- ❖ 『江戸の庶民から武士まで200年家系図をつくる本』
- ❖ 『日本一の洗濯屋が教える汚れ落としの神ワザ』
- ❖ 『歯科医だからわかった睡眠呼吸障害の治し方』
- ❖ 『「酢」のレシピ なくてはならない調味料』
- ❖ 『親父の納棺』

【児童書】



えほん

『めをさませ』
五味 太郎/作 (絵本館)

みかづきにすわってねていた、かわいい生きものが、落ちました。どんどん落ちていく様子に、まわりはハラハラ。「おーい、めをさませ!」はっと目を覚ましたその生きものは、自分がなんだったかを思い出し…。

よみもの

『マシュマロおばけ』
プリツ&カッター・フリドリック/文 (瑞雲社)



ハロウィンの夜、マシュマロを食べて姿を消せなくなってしまったおばけの子どもたちは、人間の子どもふりをして、ハロウィンを楽しむことに…。朝読にピッタリな、不思議な夜のお話。

ぶんか

『世界遺産を救え!』
ト・ホキツ/著、武井 摩利/訳 (創元社)



世界各地にある世界遺産は、常に、自然災害や戦争、気候変動、環境汚染などの脅威にさらされている。世界遺産を守るため、人々がどのように力を合わせているかを、豊富な図版とともに紹介する。



そのほかの あたらしいほん



- ❖ 『めちゃうま!? 昆虫食事典』
- ❖ 『ジュラシック・ワールド超接近図鑑』
- ❖ 『こどもSDGs大図鑑365』
- ❖ 『列車探偵ハル2 アメリカ横断列車の誘拐事件』
- ❖ 『動物の国の救世主』
- ❖ 『どっちが強い!? ミズダコvsノコギリエイ』
- ❖ 『ひがたはたからばこ』
- ❖ 『ピーパーくんとポプラのき』
- ❖ 『はたけの絵本』
- ❖ 『すけすけのりもの』
- ❖ 『へんてこはやくちことば』
- ❖ 『おつきさまとおつきみ』